

定例記者会見（発言内容要旨）

開催日 令和7年2月26日（水）13：30

場 所 庁議室

◆市長あいさつ

■先崎市長

本日は、年度末の大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、本市におきましては、平成17年に旧那珂町、旧瓜連町の2町の合併により那珂市が誕生し、今年で市制施行20周年という節目の年を迎えたところでございます。その間、少子高齢化の進行など本市を取り巻く社会情勢は大きく変化してまいりましたが、このような厳しい時代であるからこそ、10年

後、20年後先の未来を見据えた長期的な展望に立ち、今後の市勢伸展の「礎」となる各種施策を、積極的に前に進めていく必要があると考えています。

この後、改めてご説明いたしますが、「令和7年度予算案」については、限られた財源の中から最大限の効果を発揮するよう編成するとともに、「道の駅」をはじめとする重点施策についても盛り込んでございます。

報道関係の皆様におかれましては、引き続き、ご取材等をいただくなど、本市の情報発信にお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



○令和7年度那珂市各種会計予算案について○

■先崎市長

新年度予算につきましては、第2次那珂市総合計画後期基本計画に基づき、まちづくりの目標である「住みよきプラス活力あふれるまち」の実現に向け、各種事業について計画的に進めるべく編成したところでございます。その結果、一般会計においては前年度比9.2%、21億3千万円増の252億3千万円となりました。

なお、予算規模としては、過去最大でございます。

特別会計につきましては、国民健康保険特別会計（事業勘定）が前年度比5.1%減の52億円、公園墓地事業特別会計が前年度比23.1%減の1千万円、介護保険特別会計（保険事業勘定）が前年度比1.6%減の50億円、後期高齢者医療特別会計が前年度比9.9%増の10億円、那珂地方公平委員会特別会計については、令和6年度に廃止したため、皆減となります。

次に、主な新規事業でございますが、令和7年度は、平成2年10月29日に旧那珂町とアメリカ合衆国オークリッジ市が国際親善姉妹都市盟約書を締結してから35周年を迎えます。この節目の年を記念し、今後も姉妹都市交流を通じて、相互の理解と親睦を深めるため、『オークリッジ市国際親善姉妹都市35周年記念事業』を実施いたします。また、市の代表的なイベントとして実施してきました「なかひまわりフェスティバル」と「那珂市産業祭」を統合し、新たなイベントとして「いい那珂フェスティバル」を開催いたします。さらに、3年に1度行われる、華麗な山車とお囃子の競演が見どころの「額田まつり」と「菅谷まつり」が次年度開催される予定でございます。子育て支援としましては、学校給食における保護者の負担軽減を図るため、『いい那珂子育て給食費支援事業』において、給食費の一部補助を実施してまいります。また、『妊婦のための支援給付事業』において、子ども・子育て支援法に基づき、妊娠期からの切れ目のない支援を行う観点から、妊婦等への経済的な支援を行ってまいります。さらに、教育環境の充実に向け、熱中症対策として小中学校の特別教室へ空調設備の整備を図ってまいります。本市の新たな活力を創造すべく進めております、複合型交流拠点施設「道の駅」につきましては、これまで「推進事業」として、基本構想や基本計画の策定、各種準備委員会の設置、基本設計などに取り組んでまいりましたが、令和10年秋頃のオープンを予定し、来年度からは「整備事業」として実施してまいります。また、実施に当たっては、「道の駅」整備に特化した課を新たに設け、事業を進めてまいります。

皆様の前に模型を今日は用意させていただきました。以前は、イメージパースでしたが、実際に設計を起こしまして、400分の1のスケールになりますが、

（次のページに続く）

模型を作らせていただきました。山型の1番高いところで15メートルあります。私どもも当初は高速道路から少し見下ろすような感じかなと思っていたのですが、山型の1番高いところは、多分高速道路よりも高くなるというイメージのようでございます。ぜひこれも皆さんに見ていただければと思って本日用意をさせていただきました。議会には説明しましたが、公にしたのは初めてでございます。よろしく願いいたします。

そのほか、公共施設の長寿命化対策として、本庁舎やコミュニティセンター、給食センターの改修等を実施するとともに、交通の円滑化により地域の活性化を図る「菅谷飯田線道路整備事業」、「菅谷市毛線街路整備事業」、市民の安心安全な生活環境の向上を図る「道路改良舗装事業」、「冠水対策推進事業」など、社会資本の整備についても、引き続き計画的に進めてまいります。

以上が令和7年度当初予算の概要でございます。一般会計の詳細につきましては、渡邊企画部長からご説明いたします。

■企画部長

はじめに、歳入でございます。

一般財源については、市税が74億7,363万円となり、3億4,994万円の増となりました。賃金上昇等に伴う所得増などによる個人市民税の増や家屋に係る固定資産税の増などによるものでございます。

地方譲与税をはじめ、各種交付金につきましては、国の地方財政対策の伸び率などにより、それぞれ増減を見込んでおります。

次に、特定財源ですが、国庫支出金につきましては、38億9,094万円となり、6億5,998万円の増となりました。これは国による児童手当の抜本的拡充等に伴う国庫負担金、3億1,647万円の増などによるものです。また、県支出金につきましては、20億22万円となり、1億5,546万円の増となりました。これは民間保育所児童運営費に係る負担金の増などによるものでございます。

市債につきましては、25億2,070万円となり、5億7,440万円の増となりました。これは、道の駅整備事業債や給食センター施設整備事業債の皆増などによるものです。主な起債対象事業としましては、まちづくり振興基金を造成する基金積立事業が4億7,500万円、複合型交流拠点施設「道の駅」整備事業が3億6,490万円、菅谷市毛線街路整備事業が3億5,360万円、土地改良基盤整備事業が1億3,610万円、給食センター施設整備事業が1億1,940万円、道路改良舗装事業が1億1,630万円、道路維持補修事業が1億1,190万円などとなっております。

(次のページに続く)

その他につきましては、繰入金が15億9,608万円となり、このうち、財源不足を補うための財政調整基金等からの基金繰入として15億7,700万円を計上しております。

続きまして、歳出でございます。増減の大きなものについて説明いたします。

義務的経費につきましては、129億5,736万円となり、9億68万円の増となりました。年々増加している扶助費につきましては、57億2,616万円となり、7億1,373万円の増となりました。増額となった主な事業は、児童手当支給事業や民間保育所等児童入所事業などです。

投資的経費につきましては、普通建設事業費が、29億889万円となり、9億9,064万円の増となりました。主な事業としては、複合型交流拠点施設「道の駅」整備事業が4億1,227万円、菅谷市毛線街路整備事業が3億9,741万円、道路改良舗装事業が2億5,042万円、冠水対策推進事業が2億3,455万円などとなっています。

物件費につきましては、39億454万円となり、2億9,194万円の増となりました。主な理由としましては、自治体情報システム標準化推進事業が増となったことなどによります。また、補助費等につきましては、25億9,810万円となり、6,105万円の増となりました。主な理由としましては、大宮地方環境整備組合負担金が増となったことなどによります。

以上が一般会計の概要となります。

先ほどの市長からの説明と重複するところもございますが、新規事業について、いくつかご説明いたします。

主な新規事業としては、20の事業が掲載されております。

施設の長寿命化を図るため、本庁舎改修事業につきましては外壁改修工事等を、ふれあいセンターよしの改修事業につきましては屋根改修等工事を、ふれあいセンターよこぼり改修事業につきましては空調設備改修工事を、給食センター施設整備事業についてはボイラー等更新工事を、それぞれ実施するものでございます。

オークリッジ市国際親善姉妹都市35周年記念事業につきましては、令和7年度に、オークリッジ市との姉妹都市締結35周年を迎えることから、記念式典等の開催を予定しております。

妊婦のための支援給付事業につきましては、国の妊婦のための支援給付制度に基づき、妊婦に対し、給付金等の支援を行うものでございます。

複合型交流拠点施設「道の駅」整備事業につきましては、那珂インター周辺へ「道の駅」の整備を行い、地域の活性化を図るものでございます。主な内容としては、実施設計と用地買収、補償物件の補償費等でございます。

いい那珂フェスティバル事業につきましては、「なかひまわりフェスティバル」

(次のページに続く)

と「那珂市産業祭」を統合し、新たなイベントとして「いい那珂フェスティバル」を本年秋に開催予定としております。

まつり開催補助事業につきましては、3年に1度開催される額田まつり及び菅谷まつりへ補助を行うものでございます。両宮遊歩道改修事業につきましては、老朽化が進む両宮遊歩道の改修を行うものでございます。

いい那珂子育て給食費支援事業につきましては、子育て支援として、給食費を超過した賄材料費の価格高騰分に対し、公費負担による支援を行うものでございます。

体育施設整備事業につきましては、神崎グラウンドテニスコートの改修工事を行うものでございます。

主な新規事業につきましては、以上となります。

私からの説明は以上でございます。

○令和7年第4回那珂市議会定例会に提出する議案概要等について○

■先崎市長

会期日程につきましては、3月4日の火曜日から3月21日の金曜日までの、18日間を予定しております。

議案でございますが、「条例の改正等」が18件、「令和6年度各種会計補正予算」が2件、「令和7年度各種会計当初予算」が7件、「その他」が3件の計30件でございます。

本日は、このうち、議案第19号「那珂市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例」及び議案20号、21号の「令和6年度各種会計補正予算」についてご説明をいたします。

【議案第19号 那珂市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例】

市内における太陽光発電設備の設置及び管理に関して必要な事項を定めることにより、自然環境及び生活環境の保全を図り、市民の安心と安全を確保することを目的として本条例を制定するものでございます。

【議案第20号 令和6年度那珂市一般会計補正予算（第9号）】

予算総額に、歳入歳出それぞれ3億97万1千円を追加し、251億2,961万円とするものでございます。歳出の主な内容については、各事業における契約額、所要額の確定等により、事業費を減額するものでございます。

増額補正をする主な事業は、総務費については、基金積立事業において、財政調整基金への積立金を増額し、地域公共交通活性化事業において、路線バスの運行維持に係る補助金等を計上するものでございます。

民生費については、民間保育所等児童入所事業において、国の基準改正に伴い委託料等を増額するものでございます。

衛生費については、聖苑管理事業において、電気料金等の高騰に伴い指定管理に係る委託料を増額するものでございます。

土木費については、冠水対策推進事業において、国交付金の追加配分に伴い工事請負費を増額するものでございます。

教育費については、中学校施設整備事業において、国の補正予算に伴い特別教室への空調設備設置に係る工事請負費等を計上するものでございます。

諸支出金については、国県負担金等返納金において、前年度の精算等による返納金を増額するものでございます。

また、歳入については、交付見込額の減により、地方譲与税及び地方特例交付金を減額し、追加交付により地方交付税を増額するものでございます。その他歳

(次のページに続く)

出補正予算との関連において、繰入金を減額し、国庫支出金、県支出金、繰越金、諸収入、市債をそれぞれ増額するものでございます。

さらに、繰越明許費としまして、下菅谷地区街路整備事業（上菅谷下菅谷線・下菅谷停車場線）ほか5事業において、各事業諸般の理由により、事業費を翌年度に繰り越すものでございます。

【議案第21号 令和6年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)】

予算総額から、歳入歳出それぞれ337万円を減額し、51億2,205万5千円とするものでございます。

歳出の主な内容として、保険給付費において、高額介護サービスの給付見込額の増に伴い負担金を増額し、基金積立金において、介護給付費準備基金への積立金を減額するものでございます。

また、歳入については、繰入金、繰越金をそれぞれ増額し、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金をそれぞれ減額するものでございます。

なお、次の議案第22号から28号までについては、会見冒頭でご説明した「令和7年度各種会計当初予算」となっております。

「議案等の概要」の説明は、以上でございます。

○市政に関する告知事項○

■先崎市長

「市政に関する告知事項」を、記者の皆様へ情報提供させていただきます。
記者会見資料の表紙にありますように、今回は7件ございます。

【（１）2,000本の八重桜が咲き乱れる圧巻の風景をお楽しみください
「2025八重桜まつり」を開催します】

4月10日の木曜日から23日の水曜日まで、日本さくら名所100選に選定されている静峰ふるさと公園において、「2025年八重桜まつり」を開催いたします。自然の丘陵を生かした広大な園内では約2,000本の八重桜が満開となり、毎年、春の訪れを感じさせる情景を楽しむに、大勢の家族連れや観光客で賑わいます。

期間中の20日、日曜日には、キッズダンスやよさこいソーランの演舞など多彩なステージイベントが催されるほか、15日から22日までは、幻想的な夜桜ライトアップが行われます。

【（２）那珂市立図書館の来館者が500万人を達成します】

那珂市立図書館は、平成18年の開館以来、多くの市民の皆様にご利用いただいているところですが、来月の3月中旬頃には、来館者数が500万人を達成する見込みでございます。

達成の際には、500万人目となる来館者によるくす玉割や写真撮影、記念品の贈呈など記念セレモニーを開催する予定です。

なお、セレモニーの日時については、今後の来館者数に応じて決定し、後日改めて情報提供を行いますので、報道関係の皆様には、ご取材を賜りますようお願い申し上げます。

【（３）下水道に切り替えた家庭の使用料を約1年分免除します】

本市では、下水道への接続率を向上させ、安定的な事業運営を図ることを目的に、本年4月から2年間、「いい那珂暮らし下水道等接続促進キャンペーン」を実施します。

内容としては、一定の条件はございますが、キャンペーン期間中に、公共下水道または農業集落排水に接続したかたを対象に、約1年分の下水道使用料を免除するものです。報道関係の皆様には、ぜひ、ご取材を賜りますようお願い申し上げます。

（次のページに続く）

【(4) 木崎浄水場に「配水池」が完成しました】

平成26年度から始まった木崎浄水場更新工事については、令和7年度中に完了する予定ですが、これに先立ち、ステンレス製の配水池、2基が完成したので、お知らせいたします。

東日本大震災発生の際、当時の配水池はコンクリート製であったため被害が大きく、水道水の供給ができない状況が続きました。これを踏まえ、施設の耐震化を進めてまいりましたが、平成27年度に完成した1号配水池に続いて、このたび2号配水池が完成しまして、配水池がステンレス製となったことにより、地震や災害に強く、安定した水道水の供給が可能となりました。

今回完成した2号配水池は、1号配水池と比較して、同等の耐食性と2倍の強度を合わせ持つ新素材を使用した、日本初の配水池であり、約18%の薄肉軽量化を実現しています。たいへん先進的な配水池となっていますので、報道関係の皆様には、ぜひ、ご取材を賜りますようお願い申し上げます。

【(5) いい那珂マルシェ in IBARAKI sense～お客様の声を商品開発に！～】

3月6日の木曜日と7日の金曜日の2日間、東京銀座の「イバラキセンス」において、「いい那珂マルシェ イン イバラキセンス」を開催します。

当日は、本市の産品開発プロジェクト「那珂市うまいもん会議 トレヴィ」で、市販化を目指している新商品のテストマーケティングを行います。また、お越しいただいたかたを対象に、商品の試食やパッケージデザインのアンケート調査を実施し、その結果を商品に反映していく予定です。当然この特産品開発も、道の駅を念頭に置いた、一連の事業の中の一つの取組となります。

【(6) 国際交流のつどい ヨーロッパ料理教室を開催します】

那珂市国際交流協会では、外国人との親睦や交流を深め、外国文化への理解促進と国際化の推進を目的に、「国際交流のつどい 外国料理教室」を開催しています。

今回は、ヨーロッパ出身のジェフ・ラッジさんを講師にお招きし、ヨーロッパの家庭料理3品を作る料理教室を3月9日の日曜日、市中央公民館で開催します。

ジェフ・ラッジさんは、日本人との結婚をきっかけに本市に移住し、現在は妻の実家の提灯工房を継いで水府提灯職人として活躍されているほか、地元の消防団員やPTA役員として、地域活動にも積極的に取り組まれているかたです。

(次のページに続く)

【（7）多文化共生セミナーを開催します～ケララの美と文化（南インド）～】

同じく、那珂市国際交流協会では、外国の文化や習慣など、日本との違いを理解し、多文化共生社会への理解を深める「多文化共生セミナー」を開催しています。

今回は、インド南部、ケララ州出身のサントッシュ・クマール・アーバニさんを講師にお招きしてのセミナーを、3月16日の日曜日、ふれあいセンターよこぼりで開催します。ケララ州の自然や文化、食事や生活の様子についてお話しいただくほか、講演後には、講師を囲んでの交流会も開催いたします。

時節柄、お忙しいとは存じますが、イベント等の開催に係る告知のご協力、並びにご取材等を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○質疑応答○

【令和7年度那珂市各種会計予算案について】

◆「いいなか子育て給食費支援事業」ですが、これは、給食費が安くなるとか、そういう部分はあるのか。

■企画部財政課長

ご承知のように物価高騰の状況で、本来であれば、現状から給食費を上げなければならぬのですが、子育て支援を目的として、値上げはせずに、公費のほうで負担をするということでございます。ひと月当たり、生徒1人当たり大体1,500円の支援となっております。

◆現在の小中学校それぞれの給食費は、保護者負担はいくらか。

■企画部財政課長

現行の保護者の負担額は、小学校が4,300円、中学校が4,700円となっております。

◆この価格は据え置くということか。

■企画部財政課長

はい。そうです。

◆道の駅ですが、新年度に実施するものとしては、具体的にどのような内容で、金額はいくらか。

■産業部商工観光課長

令和7年度の主なものですが、実施設計として9,050万8千円、事業用地の取得費として1億9,440万円、物件移転の補償費として9,100万円を見込んでいるところでございます。

(次のページに続く)

◆道の駅の、来年度から令和10年の秋頃のオープン予定までのタイムスケジュールを教えてください。

■産業部商工観光課長

令和7年度は実施設計を行い、令和8年度からは造成工事に入ります。令和9年度からは外構工事とあわせて本体の工事に入っていく、令和9年度、令和10年度と、約1年半かけて工事を進めていく予定です。

◆道の駅は、合併特例債事業に位置付けられているが、これは、一般会計でよろしいか。

■企画部財政課長

一般会計の事業でございます。財源として、起債を使うわけですが、来年度は、合併特例債を活用して事業を進めていくということで予算を組んでおります。

◆令和7年度に実施設計9,050万を計上しているということだが、令和7年度中に実施設計が終わると考えてよろしいか。

■産業部商工観光課長

おっしゃるとおりです。

◆そうすると、総事業費としては、その頃に出ると考えてよろしいか。

■産業部商工観光課長

基本設計の段階で、市民説明会や議会に報告しております29億3千万円というものが概算事業費として出ておりますが、実施設計の後、発注できる段階で総事業費が出るかと思えます。

◆中学校の空調設備の件ですが、当初予算には、各中学校の特別教室に空調設備を整備するとなっていて、補正予算にも計上されている。これはどういう意味か。

■企画部財政課長

当初予算で計上しましたが、急遽国の補正予算で補助の採択があり、前倒しで、3月補正で組み直しております。予算編成の都合上、当初予算から削除することができなかったため、そのままの状態になっておりますが、補正予算で執行します。

(次のページに続く)

◆当初予算と補正予算とで若干金額が違うのは、設計費が抜いてあるということか。補正予算では1億5,395万6千円となっているが、当初予算は1億5,715万7千円となっている中に、プールの解体工事に係る実施設計費と、当初予算の概要書の中には入っているが、その差額は、実施設計費と考えてよろしいか。

■企画部財政課長

プールの解体を令和8年度に予定しておりまして、そのための事前調査の経費を、当初予算には同じ事業で計上している分の差額になります。

◆空調設備を整備で、中学校の特別教室となっているが、中学校は全部で5校か。

■企画部財政課長

中学校は全5校になります。特別教室の中でも、今回整備する部分は、各中学校の理科室と音楽室になります。

◆先崎市長にお尋ねします。市制施行20周年、合併を振り返って、どのような効果があったか。また、残されている課題等の受け止めをお願いします。

■市長

両町がどちらも財政的に厳しくなってきたという背景の中で合併し、いろいろなものを合理化していき、住民サービスに生かしていこうという背景がきっとあったと思いますが、そういう意味では、施設の統合や人員の合理化など、予定どおり進んできたような気がします。

合併によって生み出されたものを、住民サービスに振り向けるということがある程度はできてきたと感じています。私が市長になってからまだ6、7年しか経ちませんが、住民サービスをさらにどのようにしていこうかと考える次の段階に入ってきたのかなという感じがします。

ご存じのように、少子高齢化が進んできて、人口減少の時代の中で、これから自治体をどう発展させていくかという、非常に大きな岐路に来ていると私は考えております。新型コロナウイルス感染症対策や、震災からの復興等、いろいろな事象がありました。そういったものも乗り越えてまいりました。

私が就任当時から考えていたのは、那珂市が持っているポテンシャル、要するに、水戸市やひたちなか市に近く、これまではベッドタウンとして、住みやすいまちということで発展をしてきましたが、何をやるにしても、事業を実現していくためには、財政の裏付けがないとできないということをつくづく感じました。さらに住民サービスをよくしていく、あるいは、未来の那珂市をつくっていく中では、産業を

(次のページに続く)

おこして、税収を増やしていく。そういったものを果実として、福祉や教育にいかしていくということが、基本的なサイクルだろうなと思いました。

そういった中で、これまでベッドタウンとして発展してきたまちを、やはり、産業が豊かなまちにしていく。農業は、基幹産業でこれまでも地域を支えてきましたが、商工業をどう発展させていくかということが大きな課題で、そういった意味では、工業団地の造成、あるいは、働く場所をつくっていく。産業をどう後押ししていくかという観点の中で、私が就任2年目に打ち出したのが、この道の駅の構想でした。

道の駅は、全国的には後発ですが、ご存じのように道の駅は第3ステージに入ったと言われておりまして、地域の産業振興とか、交流人口の拡大とか、そういったものを、全国の道の駅が今担っています。那珂市がつくる道の駅も、当然、地域の産業を後押ししていく。牽引していく。そういう場所になっていくと思います。農林水産業あるいは商工業、いろいろなものがこの道の駅を起爆剤として活性化していくと思います。そして、交流人口も増やしていく。あるいは情報の発信。そういったものを通して実行していきながら、次なる新しいステージの那珂市に向かっていきたいと考えております。

そういう意味では、道の駅は、今後の那珂市の行く末を占うこの大きな事業だと。いろいろなものが凝縮されてこの事業の中に入ってくると感じておりますので、これからも全力で進めていきたいと考えております。

◆いい那珂フェスティバルは、二つのイベントを統合して開催するということが、どういう狙いで統合するのか教えてください。

■産業部商工観光課長

今まで、なかひまわりフェスティバルと産業祭を、8月と12月にそれぞれ実施していましたが、ひまわりフェスティバルの会場を、なかLuckyFM公園で実施するに当たり、駐車場として県の工業団地の未買収未利用地を使わせていただきましたが、その買収が決まり、使えなくなったということが大きな理由の一つです。それと、なかひまわりフェスティバルは、8月下旬の土曜日に開催していたため、今まではある程度涼しい時期ということで、日中の来場者も大勢いらっしゃっていただいたところですが、昨今の気候変動の中で、日中のお客さんがまばらになってきてしまい、また、実際に出店していただいている方も大変になってきたというところもあり、まずは、ひまわりフェスティバルを別なところで開催しようというところから始まっております。そのときに、産業祭は、今まで市役所(本庁)隣の中央公民館の敷地で開催していたのですが、昨年度から宮の池公園というところで実施しております。産業祭が、(一社)カミスガプロジェクトが主催する

(次のページに続く)

「ガヤガヤ☆カミスガ」のイベントとの合同開催ということで、場所的にもJR上菅谷駅から徒歩で行けるということもあり、来場者が大変多い状況になっております。ただ、「ガヤガヤ☆カミスガ」との合同開催となると、「ガヤガヤ☆カミスガ」は各偶数月に開催しておりますので、ひまわりフェスティバルは、暖かく気候がいい時期に開催したい。産業祭も、もっと盛り上げていきたいということもあり、10月下旬から11月初旬くらいの、気候のいい時期に、那珂市のイベントとして新しいイベントを開催していければということで、実行委員会のほうで決定してきたところでございます。

◆道の駅関連で、特化した課を新設することのだが、これは、新年度から整備完了するまでの、時限的な課という理解でよろしいか。

■総務部長

現在、道の駅に関する業務に関しましては、商工観光課内の「インターチェンジ周辺開発推進室」で行っておりました。令和7年度当初より、道の駅の整備に特化した課を設置し、事業を進めていくというところでございます。

【令和7年第1回那珂市議会定例会に提出する議案概要等について】

【市政に関する告知事項について】

◆下水道の件で、使える状況にあるのに使っていない世帯数や、整備されている総延長などの、数字的なデータを教えてください。

■秘書広聴課長補佐（総括）

事務局からお答えいたします。

キャンペーンの対象となる世帯数は、公共下水道と農業集落排水をあわせて約2,000世帯を予定しております。現在の接続率ですが、公共下水道が約89%、農業集落排水が約84%という状況でございます。

◆使用料に上限は設定しないのか。

■秘書広聴課長補佐（総括）

一般家庭というところになるかと思われます。チラシをご覧くださいますと、個人という形になっているので、工場のように大量に水を使うところはないので、おおよそ標準的な家庭の使用料という形になってくるものと思われます。

◆下水道に接続していない方がいると、行政運営としてはどういう問題があるのか。せっかく整備したのに、利用されていないというだけか。それとも、利用してもらえたらもっとこれが上がるということがあるのか。

■秘書広聴課長補佐（総括）

基本的には、公共下水道エリアを決めまして、そのエリアになった方は、工事が終わった後は、何年以内に接続という話になるかと思うのですが、接続してくれないと、配水本管や公共ますを付けた費用が回収できないという形になってまいりますので、基本的には接続していただくということが、市の事業の収支では重要になってくるものと思われます。

（次のページに続く）

■企画部長

補足ですが、現在、公共下水道と水道事業会計は、公営企業の形態をとっておりまして、収入がないと、メンテナンスや事業ができないということもあります。そのため、基本的な条件としては、下水道管が接続できるのに接続していない人、また、合併浄化槽から転換して接続できる人を対象としています。あとは、口座振替を条件にしています。そうすると、1年後からは自動的に料金を振り替えることができるということで、やはり、安定した収入を増やしていかないと、維持管理がこれからどんどん増える中、事業的にも厳しいということで、収入をとにかく確保しようということが前提のキャンペーンということでございます。

◆関連で、約2,000世帯が対象とは、未接続の方が約2,000世帯あるということか。

■秘書広聴課長補佐（総括）

接続されている方については、料金の減免とか免除はございませんので、公共下水道と農業集落排水をあわせて約2,000世帯をターゲットにしているというところでございます。

◆関連して、4人家族で1年間いくらなど、一般モデルみたいなものはあるか。

■秘書広聴課長補佐（総括）

生活スタイルは様々だと思うので多少前後するとは思いますが、担当課では、モデル世帯としまして、約1年間を目安に、2人世帯では年間2万2千円ほど、3人世帯では3万3千円ほど、4人世帯では4万6千円ほどを目安として見込んでいます。

◆ようするに、対象は、汲み取り式トイレ（水による汚物処理機能のない非水洗トイレ）を使っている方ということか。

■秘書広聴課長補佐（総括）

合併処理浄化槽の方が大多数と思われるところでございます。

◆配水地について、素材の名称は。また、日本初とあるが、どのように確認をとられているか教えてください。また、既存のステンレス素材との違いや、既存のステンレス製品との耐久性の違い、施工金額、震災時のコンクリート製「配水池」の被害状況、震災時の復旧までの期間についても教えてください。また、配水地の高さとか直径とか、数字的なものも一緒に教えてください。

（次のページに続く）

■秘書広聴課長補佐（総括）

配水地の直径が23.4メートル、高さが9.75メートルとなっております。

■定例記者会見終了後に文書で回答

○素材名について

- ・1号配水池（平成27年完成） 汎用ステンレス鋼 SUS304
- ・2号配水池（今年度完成） 省合金二相ステンレス鋼 SUS821L1

○既存のステンレス素材との違いや、既存のステンレス製品との耐久性の違い
2号配水池に使用されているSUS821L1は、レアメタルであるニッケルの添加量がSUS304より少ないため、環境負荷が小さくなっています。さらに、SUS304と同等以上の耐食性を持ちながらも、強度が高い特徴があります。そのため、1号配水池に比べて約2割（18%）の薄肉軽量化が可能となり、コストダウンが期待できます。これにより、配水池タンクでは全国で初めての採用となりました。

○施工金額

那水工第9号 木崎浄水場2号配水池新設工事として発注し、その他の関連施設を含む発注により、工事費は約5億円となります。

○震災時のコンクリート製「配水池」の被害状況

コンクリート製の薬品沈殿池に亀裂が入ったため、浄水処理が行えないだけでなく、配水池にも亀裂が発生したため、浄水処理後の水を溜めることができませんでした。

○震災時の復旧までの期間について

施設機能は平成23年3月11日に停止し、試験通水の開始は同月23日となり、復旧までには12日間を要しました。

◆配水地は、現地で見せてもらえるか。

■秘書広聴課長

事前に問い合わせ先の担当にご連絡いただければ、ご都合のよい日を調整し、取材とあわせ、現地対応もできると思います。

◆台南市と友好交流協定を締結したことにより、何か事業や計画は考えていないのか。

■市長

私も何回か飛虎將軍廟をお参りさせていただきました。飛虎將軍と言われた杉浦さんの母親が那珂市出身ということで、那珂市もご縁があり、交流を続けてきましたが、現在、市役所の各課で、どのような事業ができるかのメニュー出しをしている段階です。